

移住者から広がる移住の輪

想像してみましょう。もし自分が移住者になるとしたらー。
移住することは勇気のいること。不安も期待もある中で、先輩移住者の存在は心強い存在になります。
花巻市石鳥谷町に移住して11年になる高橋亮介さんは、自身の経験をもとに移住を考えている人へ思いを伝えます。

interview

移住してわかる花巻の魅力

自分で事業をやってみたいという思いで農業の道に飛び込み、農業委員さんから紹介されたこの地が気に入り酒米専門農家を始めました。
花巻で農業をやる魅力は、農村地域ならではの寛容さ。周りに農業者が多いから理解があり、農作業がしやすい環境です。また、農業は地域の協力も不可欠です。地域の担い手になることも時には必要。要所要所でお世話になった

さっち a beautiful farm 酒米専門農家 高橋 亮介 さん

ので恩返ししたいと思っています。
市が行った第2次まちづくり総合計画の市民ワークショップにも参加し、移住者の目線で花巻の良いところについてお話をさせていただきました。
花巻はいろいろな可能性が眠っているまち。まだまだやれることがあるので、移住者にとってはチャンスのだと思います。

私が高橋亮介さん家族の移住をサポートしました 中村 敬さん

農業をやりたいという高橋さんに土地を紹介したのが、当時農業委員だった私です。せっかく来てもらったんだから、上手くいってほしいなという気持ちで世話を焼かせてもらいました。私も農業をやったことがあったから、専業農家としてやろうとしている高橋さんが心配というのがある。今では地域のいろんな役割を担ってくれて、私だけでなく地域みんなが高橋さんがこの地域に来てくれてよかったと思っていますよ。

移住についていろいろな考え方がありますが、移住者が増えることは良いことだし、応援したいです。移住者であっても地域の一員という視点で「普通」に接することが、私たちにとっても移住者にとっても大切なことではないのかなと思っています。

interview



憧れだけではなく、暮らしぶりを現実的に考えていくことが大事だと分かりました。移住に対してより踏み込んで考えられました。



移住の大変さや苦勞、移住後の楽しさの話が聞いてよかったです。先輩移住者の皆さんの顔が生き生きとしていて印象的でした。

モニターツアーに参加して

モニターツアーを企画して



市定住推進課 畠山 夕子 課長

移住を考える人たちは、移住後の地域での暮らしに不安を抱えています。本ツアーは、地域の魅力や暮らしを体感するとともに、地域住民・移住者との交流の機会を設けるために昨年度から年2回実施。先輩移住者から具体的な暮らしぶりや移住の苦勞、楽しさを聞くことができ、好評を得ています。

モニターツアーに参加して



市では、1月26～28日、花巻・遠野おためし移住モニターツアーを開催しました。本ツアーには、花巻市・遠野市に移住を希望する11人が参加。先輩移住者との交流や生活体験を通して、移住後のイメージを膨らませていきました。
1日目、参加者は酒米専門農家・高橋さんの農作業用の家を訪問。移住してからの体験についてお話を聞きました。その後、高橋さんの酒米で醸造された日本酒を試飲。「もし移住したら、ぜひ遊びに来てください」と呼びかける高橋さんに参加者は安心感を持ったようです。高橋さんと自由に会話し、移住に対する不安や疑問を解消しました。

ツアー行程(1/26-1/28)

花巻コース

1/Day

- 新花巻駅に集合
- やえはた自然農園 農園カフェ そらでオリエンテーション
- さっち a beautiful farmで移住者交流・意見交換
- ホテルバルンドルフに宿泊

花巻→遠野コース

2/Day

- 川源ぶどう園でブドウのせん定作業・薪割り・ピザづくり体験
- エーデルワイン工場見学
- 遠野市へ
- 福地わさび縁 わさび収穫体験
- つくしファームで移住者交流
- 農家民宿に宿泊

遠野→花巻コース

3/Day

- 農家民宿チェックアウト後、とおの物語の館で縄ない体験
- ホテルあえりあ遠野で昼食・意見交換
- 花巻市へ
- 新花巻駅で解散

高橋 亮介さん・久美さん夫妻

ヤギ・麴くん

亮介さんは盛岡市出身。妻・久美さんとお子さんの3人で花巻市に移住。ヤギの麴くんはペット。

移住モニターツアーで参加者に自分の経験を伝える